

指定管理業務評価表

施設名	小牧市歴史館		
対象年度	平成29年度	評価担当部	教育委員会事務局
指定管理者名	小牧市施設活用協会		
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成30年3月31日		
職員体制	常勤職員：1人	非常勤職員：2人	合計：3人

1. 利用実績

(1) 利用者数

		歴史館			総計
		個人	団体	計	
4	大人	9,857	710	10,567	15,409
月	小人	4,110	732	4,842	
5	大人	4,093	813	4,906	6,879
月	小人	1,822	151	1,973	
6	大人	2,106	490	2,596	3,343
月	小人	739	8	747	
7	大人	1,813	425	2,238	2,898
月	小人	646	14	660	
8	大人	2,866	667	3,533	4,850
月	小人	1,198	119	1,317	
9	大人	2,389	517	2,906	3,646
月	小人	735	5	740	
10	大人	2,464	407	2,871	3,773
月	小人	858	44	902	
11	大人	3,264	600	3,864	4,785
月	小人	907	14	921	
12	大人	1,633	244	1,877	2,322
月	小人	439	6	445	
1	大人	2,510	445	2,955	4,065
月	小人	1,059	51	1,110	
2	大人	1,964	227	2,191	2,817
月	小人	624	2	626	
3	大人	6,458	769	7,227	9,974
月	小人	2,704	43	2,747	
合計	大人	41,417	6,314	47,731	64,761
	小人	15,841	1,189	17,030	
年計	計	57,258	7,503	64,761	-
前年比		△33.1%	△8.3%	△12%	-

(2) 増減要因

平成27年度に実施した耐震改修工事に伴い129日間休館していたこともあり、平成28年度は来館者が増加したが、平成29年度はこまき信長夢夜会や小牧市民まつりといった来館者数が多く見込めるイベントの際に、台風の影響を受けるなどの天候不順が重なったことなども影響し、来館者数が減少したと考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	平成29年9月9日～9月24日	回答数	51名
利用者の主な意見	市外からの利用者は、92%を占めており、利用頻度については、88%が初めてと回答している。職員の対応については、回答者すべてが満足（やや満足）と回答している。施設や設備については、94%が満足（やや満足）と回答している。意見として、館内の説明や展望室からの景色が好評であった。その他では「子どもが楽しめるような体験型の展示がほしい」といった意見があった。		
具体的な対応状況	大人だけでなく小人も体験できるよう、甲冑試着会を開催している。今後も開催前には、チラシや広報、ホームページ、フェイスブック等でより多くの方の目に触れるよう、広く周知をしていく。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		28年度 (前年決算額)	29年度 (現年決算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	20,800	39,179	
	合計	20,800	39,179	
支 出	人件費	12,091	12,206	
	需用費	2,255	2,935	消耗品費、燃料費等
	役務費	99	92	通信運搬費等
	委託料	2,619	2,184	企画展示業務委託料等
	使用料及び賃借料	312	332	モップ及びマット借上料等
	原材料費	34	30	
	負担金及び補助金	1	1	
	報償費	63	52	歴史館ボランティア等謝礼
	事務局費按分	3,325	21,347	
	合計	20,800	39,179	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	・法令等の遵守、報告書等の提出、個人情報の取扱は適切に実施されている。鍵の保管方法などについて、引き続き、適切に扱うこと。
維持管理業務	・施設・設備の点検・保守は確実に行われている。 ・不審者等に対して、適切な対応ができるよう、引き続き、訓練を強化すること。
自主事業	・甲冑試着会や茶会等の開催により、利用者が増加している。 引き続き、利用者目線にたった自主事業の実施に努めること。
サービスの質	・利用者アンケート調査の中で、職員の対応については、回答者全員が満足（やや満足）と回答している。引き続き、利用者がより快適に施設を利用できるよう考慮して、日々の業務にあたること。
収支状況 及び 経費節減	・引き続き、経費削減を意識し、施設管理にあたること。
その他 (緊急時の 対応等)	・非常時、緊急時に適切な対応ができるよう、引き続き不審者対応訓練・消防訓練などを強化すること。